

“チシマザクラ苗木プレゼント”アクティビティ

4月24日（土）・25日（日）寒地土木研究所にて

24日（土）はほぼ晴れて暖かい日でしたが、25日（日）は曇り時々雨。入口に設置してあるデジタル温度計が7.5度。一時みぞれ降る寒い日でした。

コロナ感染対策として入口にガードマンが立ち来場者に検温と手指アルコール消毒。車輛の入所は禁止で通路真ん中にコーン配置し、往き帰りの見学者が接触しない様一方歩行となって居ました。

構内のチシマザクラは全体的には5~6分咲き位。上述の通り、車輛入場制限していたので徒歩・自転車で来られた近隣の方と想像。感覚的に例年の2~3割。逆にゆっくり見られたのだと思います。

24日、L比護・L岡山・L山田・L工藤・錦織さんと応援で故L岡田忠恭さん追悼例会に出席された利尻飛島さん。
25日、L比護、L岡山・L山田・L忠海・L工藤。

今年は我々説明員の“口上統一”と頒布したサクラの持続的成長を願い「札幌グリーン農園」製作の図入りラミネート加工したグッズを用意。

配布は2年物・3年物・4年物で24日208ポット。25日183ポットの合計391ポットでした。（4年物9ポット）

満開のチシマザクラ



今年の配布場所は入口から約50m。第2実験棟前。



例年の説明パネル。今年は風に強い展示スタンド製作。



その裏側。板製作はL比護、現地組み立てL岡山。





2021/04/26



2021/04/25



2021/04/26



2021/04/25

札幌グリーン・L.C.農園 千島桜 2021年4月

花が終わったら葉に花柄摘み
 花が終わったら葉を摘みます。
 その時に終わった葉に摘み取っていきます。



▲オリーブ色の葉のあたりでポチッと
 取っておくと、花弁が落ちた後で葉が落ちて実がなります。
 実をつける時には葉分を使うので、翌年に強く花芽をつける力が養えま
 病気にもなりやすいので、忘れないうちに摘み取っておきましょう。
 摘み取ったら、少し肥料をあげます。

花後の肥料のやり方



▲札幌グリーン・L.C.農園の千島桜
 花が終わると肥料をあげます。
 油かすなどの固形肥料を置いてあげるといいです。
 札幌グリーン・L.C.農園では、ハイポネックスという液体肥料をあげていま

札幌グリーン・L.C.農園 千島桜 2021年4月

桜盆栽の剪定は5月
 剪定をする時期は5月です。
 剪定をするときは、枝元から2、3節落して切ります。
 桜は葉もとに2葉芽ができるので、その芽を数えます。
 枝の先端の芽の方が勢いがあるでドンドン伸びて、幹に近い方に花芽が
 付きにくくなるので、枝元の方を残すようにしておきます。

桜は枝を切ると病気になりやすい
 切ってはいけない...のではなく切ったところから腐れやすいので、気を付
 けましょうというわけです。
 よく消毒したはさみで、枝に垂直に切ります。
 切り口が斜めにならないように切ると水が出にくく、傷みにくくなります。
 枝の切り口には防菌剤を塗っておきます。
 盆栽だとちょっとしか使わないので、代わりに木工ボンドでもいいです。

桜盆栽の植え替え方法
 植え替えの基本的な方法は桜も同じですが、6月に入る前にします。
 植え替えが遅くなると、栄養を吸収できる期間が短くなります。

日当たりの良いところに置く
 桜は木全体に良く日が当たると、花芽ができやすいです。
 日差しが強い時期は、日よけネットなどで軽く日陰を作ってあげると喜び
 外に置くのが普通ですが、家の中に入れるとしたら1日が2日、長くても3
 日です。

花芽を作るには肥料と水やりが肝心
 桜は水を好むのですが、やりすぎると花が咲きにくくなったりします。
 春から夏にかけては1日に1~2回、夏の暑い盛りは2~3回です。
 植え替えをしないしていると、用土の水はけと水もちが悪くなります。
 若い木だと毎年、成木だと2年に1回植え替えをしましょう。
 肥料は7、8月の暑い盛りを避けて春と秋に与えます。

2021/04/26

